

平成 24 年 2 月分電力需給状況

需要の概要

平成24年2月分の販売電力量は、25億5百万kWh時、前年比 100.4%（うるう年の影響を補正すると 99.2%）となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、2月分の検針期間に含まれる1月中下旬の気温が高めに推移したことによる暖房需要の減や、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、前年比 96.4%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、節電の影響はあったものの、2月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる暖房需要の増などから、前年比107.1%（うるう年の影響を補正すると 103.4%）となった。

産業用の「大口電力」は、繊維や紙・パルプなどが前年を下回ったが、鉄鋼や機械などが前年を上回り、前年比 101.7%（うるう年の影響を補正すると 98.2%）となった。

うるう年の影響について

- ・ 特定規模需要は、2月29日が2月分の検針期間に含まれるため、昨年より1日分多くなり、この影響が含まれている。
- ・ 電灯などの特定規模需要以外の需要は、2月分検針期間が1月の検針日～2月の検針日の前日までであるため、2月29日は3月分に含まれることとなり、2月分への影響はない。

供給の概要

- ・ 原子力は、伊方発電所が全号機停止していることから、前年比 0.0%となった。
- ・ 水力は、豊水であったため、前年比 214.0%となった。
- ・ 火力は、原子力の減少などにより、前年比 162.2%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	982	96.4
	電 力	164	95.0
	計	1,146	96.2
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	531	[103.4]107.1
	産業用電力	828	[98.9]102.4
	うち大口電力	(650)	[98.2](101.7)
	計	1,359	104.2
販売電力量 計		2,505	[99.2]100.4
融 通		63	14.1

注. []内はうるう年の影響を補正した前年比
(本年2月分の電力量に28/29を乗じた値と昨年2月分の電力量を比較し算出)

大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		(百万kWh時、%)		
		24/2月	24/1月	23/12月
織 維	22	87.7	84.8	90.7
紙・パルプ	120	91.7	113.0	99.2
化 学	88	96.1	92.4	92.0
鉄 鋼	80	110.3	99.1	99.3
機 械	154	104.2	97.3	97.9
そ の 他	186	108.4	99.3	100.5
合 計	650	101.7	99.7	97.9

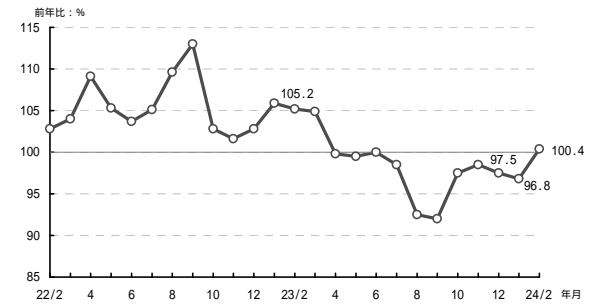
供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(0)	0	0.0	出水率 132.4% (23年2月出水率 82.8%)
水力	(8)	226	214.0	
火力	(91)	2,579	162.2	
新エネ	(1)	40	136.0	
発受電計	(100)	2,844	91.3	
その他		1		
供 給 計		2,845	91.6	

注1. 新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4 県都平均気温

	()							
	24/1月				24/2月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	5.8	6.4	5.0	5.7	4.1	4.9	7.3	5.4
平年差	0.7	0.3	0.4	0.3	1.7	1.9	0.1	1.2
前年差	0.8	2.7	1.2	1.6	2.8	0.7	3.4	2.1

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(101.1)	559	(98.2)	406	(99.0)	863	(103.0)	677

注.()内は前年比